

# 高齢女性にバリエーション豊かな衣服を

## Various clothes for elderly women

安川あけみ\*・関 琴羽\*

Akemi YASUKAWA\*・Kotoha SEKI\*

### 要 旨

加齢による体型変化，関節可動域の狭窄化，手指の巧緻性低下，身体バランスの不安定化等により，高齢者は着用できる衣服のデザインの制約を受ける場合が多々ある。しかし，市販の高齢者用やユニバーサルデザインの衣服はアイテムやデザインが豊富でなく，また，商業的な衣服の部分リフォームは高価である。そこで，文献より高齢者が着脱しやすい衣服の要素を調べ，高齢者に現れる様々な身体的変化に合わせた高齢女性のための衣服のリフォームを試みた。基本形の衣服として，既製服ではよく見かけるものの，高齢者にとっては着脱が困難な可能性のある3種類のワンピースを製作した。そして，種々の問題点を解決した5種類のリフォームワンピースを製作した。また，ワンピースを着脱しやすく，寒暖差にも対応しやすい上下二部式にリフォームした2種類のツーピースを製作した。さらに，裁縫が不得意な人にも可能な針と糸を全く使用しないリフォーム方法も紹介する。欧米と比較して地味だと言われる日本の高齢者の実情を調べ，衣服の若返りを提案する。デザインは気に入っているにもかかわらず，着用時や着脱時の不都合により着用を断念していた衣服を，簡単なリフォームにより使用できるようになれば，体型や身体機能の変化をきたした高齢者が，市販の衣服を自由に選択できるだけでなく，思い出の衣服を大切に着ることや，若々しい気持ちを保つことにもつながると考える。

キーワード：ワンピース，ツーピース，高齢者，リフォーム

### 1. 緒言

日本人の高齢者の服は地味だと言われる。欧米では高齢者も年齢を問わず，ピンク色などの明るい色や，花柄などの華やかな柄の衣服を好みに応じて着用している<sup>1)</sup>。

最近ファストファッションの流行で，年々，衣服のサイクルが短くなっているが，これは持続可能な社会に反する。元々，着用と洗濯を繰り返す衣服のサイクルは，SDGsが叫ばれるようになる以前から立派にSDGsの考えに沿っている。昔の衣服は短期間で捨てられることを考えて作られておらず，日本の「形見分け」の習慣は，人の一生よりも一着の着物の生涯の方が長いことを如実に物語っている。昔の衣服は現代のファストファッションに比べて「高価で長持ち」である。しかし，年齢を重ねた人が昔購入した「高価で長持ち」する衣服を，色柄が派手だという理由で今は着用せず，眠らせておいたり捨てたりするのは利活用

が欠落しており，衣服のサイクルにならない。

本研究では男性よりも衣服のデザインが豊富な女性の衣服を取り上げる。「高齢者は地味に」という考え方を改め，明るい色柄の衣服や以前着用していた衣服も，着用したい人は着用し続けることを勧めた上で，加齢による体型の変化や身体機能の低下による不都合がある場合の対応策を提示する。

### 2. 方法

#### 2-1 文献調査

種々の書籍，学術論文およびWeb情報から，高齢者の身体的変化，高齢者に求められる衣服の特徴，高齢者向け既製服の実状，高齢者の衣服に対する意識，日本人の国民性，ユニバーサルデザインの衣服の実状ならびにリフォーム事業の実状を調べた。

\*弘前大学教育学部家政教育講座

Department of Home Economics, Faculty of Education, Hirosaki University

## 2-2 基本形ならびにリフォーム服の材料と既製服の購入

基本形ワンピースの型紙は、市販の衿なし、フレンチスリーブのワンピースの型紙<sup>2)</sup>を元に、必要な部分を修正して作成した。無地の地味な生地として、薄い焦げ茶色の布（ポリエステル100%）、明るい色柄の生地として、薄い灰色の背景に大きなピンク色の花柄を描いた布（綿100%）を用いた。リフォームのために、花柄の布の背景に近い薄い灰色の無地の布（綿100%）を用いた。その他、ファスナー（50 cm、ベージュ）、アクリルテープ（幅5.0 cm、ベージュ、茶色、深緑色）、ボタン（直径2.0 cm, 2.4 cm）、プラスナップ（直径1.3 cm）、リボン A（幅8.0 cm）、リボン B（幅6.5 cm）、リボン C（幅5.5 cm）、コイル巻きかぎホック（ベージュ）、面ファスナー、ゴムひも（幅2.0 cm）を用いた。

また、既製服のリフォームをするため、前見頃、後ろ見頃共に着脱のための明きがなく、被って着脱するタイプのワンピースを2着購入した。1着は深緑地の柄物の服（ポリエステル100%）で、もう1着は無地のルームウェア（ポリエステル65%／綿35%）である。

## 3. 結果と考察

### 3-1 高齢者の身体的変化<sup>1,3,4)</sup>

ヒトは加齢により、循環器系、呼吸器系等の全身の生理機能が低下するとともに、体型、姿勢など形態的な変化を生じる。衣服に直接影響する身体の変化としては、次のような症状が起こる。①骨密度や筋力が低下して肩や背中が丸くなり身長が縮む。②腰や膝が曲がる。③腹部が前に出たり、首が前に出て腰の重心が後方へ移動したりして重心が移動しバランスが取りにくくなる。④女性は胸囲や腰囲が減少して胴囲や腹囲が増加し、全体に寸胴体型になる。⑤つまずきや転倒が増える。⑥関節の可動域が狭くなる。⑦筋の柔軟性が低下する。⑧敏捷性が低下し反応速度が遅くなる。⑨手指の巧緻性が低下する。⑩皮膚の感覚機能が低下する。⑪関節に痛みを生じる。⑫骨折しやすくなる。⑬O脚になる、などである。加えて、上記に挙げた身体の変化は、長年の生活習慣、健康状態、体力、遺伝、病歴等、個人差が大きい。

### 3-2 高齢者に求められる衣服の特徴<sup>3,5-11)</sup>

「3-1 高齢者の身体的変化」を受けて、高齢者に求

められる衣服の条件として、次の特徴が挙げられる。①着脱が楽であること、②着用時に着心地がよいこと、③温度調節が容易であること、④安全であること、⑤洗濯しやすく丈夫であること、⑥その他である。

①着脱に関しては本研究に最も関係する項目であるので、①-1形、①-2開口部とゆとり、①-3留め具の各項目に分けて述べることにする。まず、①-1形については、体型変化をカバーできる点と、体型に合わせて裾線を調整できる点から、ワンピースよりもツーピースの方がよい。また、高齢者は被る動作が苦手であり、体のバランスが不安定になる跨ぐ動作も好ましくないことから、前明きの服がよい。

①-2開口部とゆとりに関しては、着脱動作を容易にするために、ファスナーは長く、衿ぐりは大きめに、背幅は広めにし、衣服が身体を圧迫しないようにする。袖の形はラグランスリーブやドルマンスリーブなどアームホールの大きいデザインがよい。裾は階段等で踏むことがないように少し短めにし、裾幅は適度にする。衣服全体のゆとりを適度にし、脇にマチを付けると着脱や着用時の種々の動作がしやすくなる。

①-3留め具については、複雑で細かい動きを伴わない容易な方法がよい。すなわち、ボタンならば足つきボタンよりも平ボタンがよく、小さいものよりも直径が15 mm以上の大きいもので、滑りがよく中央にくぼみがあるものが扱いやすい。ボタンホールは横方向よりも縦方向が開け閉めしやすいが、斜め方向が最も容易であるとの研究結果もある<sup>11, 12)</sup>。ファスナーの場合も持ち手を大きくすると開け閉めしやすい。ボタン、スナップ、ファスナー、かぎホック等の金具が自身で扱いにくい場合は面ファスナーにする。最近では、かぎ型、矢じり型のフックやマッシュルーム型のループなど形を変えて係合強度を変えたものも市販されている<sup>13)</sup>。さらに、磁石の力で開閉できるマグネットボタンもある<sup>14)</sup>。ズボンやスカートのウエスト部分はゴムひもを入れるのも留め具を使わず楽な着脱方法だと言える。ただし、留め具を容易にする一辺倒ではなく、着用者の身体状態に合わせ、残存能力を生かすことを考えて選択するとよい<sup>6)</sup>。手指の巧緻性が低下した高齢者の場合、1日2回の着替えの時間は、貴重なリハビリテーションの機会となる。

通院や休息する機会の多い高齢者には、身体的な問題に加えて、予定する行動に合わせて衣服のデザインと考えるのがよいと言える。年齢や身体の状態に関わらず病院受診の際には、後ろ明きよりも前明き、ワン

ピースよりもツーピース、留め具は手間取らないものの方が診察に都合のよい場合が多い。また、昼寝の際には背中側や側面に金具がない方が快適である。

②着心地については保温性、吸水性、吸湿性、通気性などが気候や着用者の行動や好みに合っていて、伸縮性がある活動しやすく、柔らかさや肌触りが心地よい素材が適している。③温度調節に関しては、寒い時期であっても厚い衣服1枚よりも重ね着で暖かさを確保できるようにし、スカーフ、ストール、マフラー、手袋等の小物で寒暖差の調節ができるようにするとよい。若年層に比べて寒がりの場合が多いので、重ね着しても負担にならない軽い素材が好ましいと言える。④安全性については、動きの妨げにならないように衣服のゆとりは適度で、引っ掛かりや躓きの恐れのあるぶら下がったひもや過度の装飾を持たないものがよいと言える。⑤洗濯や保管などの管理がしやすく、繰り返し着用と洗濯に耐える丈夫な素材がふさわしいと言える。

⑥その他、次の点が挙げられる。両手が空いている方がつまずきや転倒を予防できるので、ポケットのあるデザインがよい。また、一見して高齢者用、障害者用という印象ではなく、一般の衣服と変わらないようなデザインが望まれる。体形の変化や機能の低下が顕著な場合も、欠点をカバーできるようなデザインが好ましい。加えて、何歳になっても、着ることを楽しむようデザインや色などにも気を配ることが大切である。おしゃれを楽しむことは高齢者の気分を高揚させ、心の健康につながる。

### 3-3 既製服の実情と高齢者の意識

現在の高齢者向き既製服に対し、高齢者がどのような不満を持っているかを調べた結果は、以下のとおりであった。まず、年相応の老化以外に大きな機能の低下は認められない高齢者から挙げられた意見を、心情面と機能面に分けて述べる。

心情面について、①色柄が地味<sup>3, 9, 15)</sup>、②デザインの種類が少ない<sup>4, 9, 15, 16)</sup>、③おしゃれな服がない<sup>3, 15)</sup>、④若々しい服がない<sup>9, 17)</sup>、⑤今どきのデザインではない<sup>9)</sup>、⑥デザインを重視していない<sup>15)</sup>、⑦デザインが気に入らない<sup>4, 15, 17)</sup>、などの意見があり、着たい衣服を売っていない<sup>3, 17, 18)</sup> 現状がわかった。また、機能面について、⑧着脱しにくい<sup>4)</sup>、⑨動きにくい<sup>4)</sup>、の意見があり、⑩ポケットがほしい<sup>18)</sup>、⑪サイズを増やしてほしい<sup>9)</sup> という希望もあった。

体型変化や機能低下などの問題を抱える人の場合

は、上記に加え、⑫体型変化や機能低下により、既製服や以前から持っている服を着られない<sup>3, 4)</sup>、⑬障害者向けの衣服はデザイン、色、柄などの種類が少ない<sup>19)</sup> との意見があった。

加齢による体型変化や機能低下に対しては、わずかな部分のリフォームで既製服が着られる場合が多い<sup>1)</sup> と言われ、リフォームしたいと考える人は多い<sup>18)</sup>。しかし、⑭自身に合わせてリフォームしてくれるところが少ない、⑮リフォームの値段が高い、⑯一目見て障害者用とわかるデザインであるなどの不満の声があった<sup>15)</sup>。

高齢者の危険な経験として、階段で裾を踏んだことがある<sup>9)</sup> という意見があり、⑰丈に関する希望や、⑱後ろ明きや被るデザインは着脱しにくい<sup>9)</sup>、困難な留め具として、「3-2」の一般論と重複するが、実際の高齢者の声としても、⑲後ろボタン、後ろファスナー、後ろホック、袖口ボタンが挙げられた<sup>9)</sup>。以上より、障害の有無によらず高齢者が着たいと思う服を充分には売っていない現状がわかった。

高齢者のファッションに対する意識を調査した結果からは、①ファッションに関心が低い<sup>20)</sup>、②もったいないので、新規の服は購入せず手持ちの服を着ている<sup>18)</sup>、③動きやすさ・着脱しやすさ等身体への優しさを重視している<sup>18, 20)</sup> というファッションに対して興味・関心の低い人たちがいる一方で、④おしゃれに関心ある<sup>17, 18, 21)</sup>、⑤おしゃれで着心地のよいものを選びたい<sup>15)</sup>、⑥明るい色柄・若者向きの服を着たい<sup>9)</sup>、⑦華やかで明るい色を好む<sup>9)</sup>、⑧シニア好みでなく自分にあった好みを明確にもつ<sup>21)</sup> というファッションへの興味・関心が高い人たちの声が多く聞かれた。また、ファッションに対する関心度の男女差について、高年男子は感心度が低い、女子では高年・若年の感心度に大差は見られない、との報告もある<sup>20)</sup>。

自身の衣服の選択について、①同性の友人・知人の視線を意識する、②自分の着たい服と世間の思う年相応の服にギャップがある、など人の目や世間の目を気にする様子が伺えた<sup>17)</sup>。

若者がおしゃれなファッションで気分が上がるように、高齢者も好みの服を着ておしゃれを楽しむこと、快適で感性を刺激するようなファッションを身につけることで気分を高揚させ、それが心の健康につながると考えられる<sup>3)</sup>。高齢者自身の言葉として、おしゃれな服で外出するとうきうき楽しい、というアンケート結果があった<sup>18)</sup>。明るい色柄の衣服を選び、おしゃれをすることが重要であると言える。

### 3-4 日本人の国民性

日本人の特性として地味好みだと言われる。特に、高齢者の場合はその傾向が強い。欧米との比較では、以下のような研究が報告されている。日本の高齢者の服の色はグレー、ブラウン、ブラックなど地味だが、欧米の高齢者の服はカラフルでおしゃれである<sup>1)</sup>。<sup>7)</sup>日本は他人の意向に左右されがちで、年相応にという意識が高いことから、50才以上ではおとなしめの服を選ぶ。一方、フランスは若者はシック、50才から派手め、服装で自己主張する、他人の意向に左右されない<sup>22)</sup>。日本は規範の教育や「母を見て」と育てられたことから物事を限定しがちで、地味を良しとし、新しいものを買わない傾向がある。一方、カナダは幅広く、楽しみを見つけ、いきいき生きる<sup>23)</sup>。日本は誰かに見られている意識や同調意識が高いが、アメリカ人はファッションに快適性を求め、人と違って当然と考える<sup>24)</sup>。総じて言えば、日本人は着用規範意識と同調意識が高いという国民性に起因して、本当は明るい色柄や若者向きの服を着たいのに実現できない<sup>7)</sup>結果に至った。また、江戸時代の儉約令により、幕府が庶民に青、ねずみ、茶色のみを許可したこと、灰色および茶色が「粋」で「おしゃれ」な色となった<sup>25)</sup>ことに起因するという考えもある。

時代と共に高齢婦人の好みも変化する<sup>26)</sup>。高齢者も明るいきれいな色柄の服を着れば、気分が高揚し、気持ち明るくなるであろう<sup>6)</sup>。日本の高齢者も、世間の目を気にせず、各自が着たい服を着られるようになることが望まれる。

### 3-5 ユニバーサルデザインおよびリフォーム事業の実情

皆が着やすいユニバーサルデザインの服を販売する店舗やWebサイトがあるが、価格は比較的高価であることがわかった。ユニバーサルデザインファッションブランドA<sup>14)</sup>では以下のような価格(税込み)であった。ブラウス：3,278～4,928円、Tシャツ：2,178～3,938円、カーディガン：3,938円、ベスト：2,178～4,928円、パンツ：2,970～4,378円、パジャマ：4,378～5,478円、肌着シャツ：2,728～3,278円。別のブランドB<sup>12)</sup>では、ブラウス5,578円～17,600円、Tシャツ：7,590円、パンツ：16,500円であった。一般の衣服について、上述の価格以上の商品も多数あるが、市場には低価格の商品も多く販売されており消費者に選択権がある。これに比べ、ユニバーサルデザインの衣服は選択肢が非常に少ないと言える。素材や留め具などに特別な工夫が必要であろうが、可能な限り一般消費者と同程度の自由度を持って商品を選ぶことができれば理想的と考える。

また、衣服の部分的なリフォームを生業とする店舗やWebサイトもあり、高齢者の体型変化や機能低下に対応するリフォームを依頼することも可能である。種々のリフォームに対し、価格(税込み)は以下のものであった。C社<sup>27)</sup>では、①ファスナーを長くする：8,000円～、スカートのウエストサイズを変更する：3,960円～、ワンピースの裾を短くする：3,190円。D社<sup>28)</sup>ではファスナーを前から後ろにする：3,300円～、トレーナーやポロシャツを前開きにする：1,670～2,200円、ボタン留めを面ファスナーにする：1,650

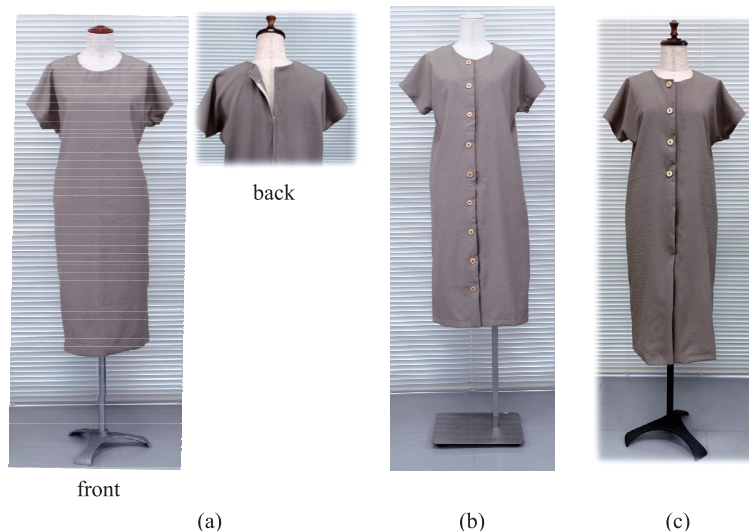


Fig. 1 Three types of dresses. (a) back opening with long fastener, (b) front opening with buttons, (c) crotch end.

～1,980円。E社<sup>29)</sup>ではパンツのウエストサイズを変更する：5,200～8,470円，スカートウエストサイズを変更する：7,150円～，ワンピースからスカートを作る：4,320円～。

以上のように，ユニバーサルデザインの衣服の購入や既製服のリフォームは高価である実情がわかった。

### 3-6 基本型ワンピースの製作

加齢により体型が大きく変化した人や，機能低下が大きい人には着脱に困難の可能性があるが，一般的にはよくあるデザインの3種類のワンピースを「基本形」として製作した。写真をFig. 1に示している。(a)は背中中の長いファスナーで開閉するデザインで，背面のファスナー上部の写真も示している。このデザインでは，着脱の際に背中に手を回して長いファスナーを上げ下ろしする動作が高齢者には困難になりがちだと言える。加えて，着脱の際には被るか跨ぐ動作が必要となり，身体の安定感を保つ必要があると言える。(b)は前明きのデザインである。(a)のように着脱の際に後ろに手を回す動作や，被るまたは跨ぐ動作が必要ない点では高齢者に優しいと言えるが，留め具が数多くの小さいボタンになっており，手指の巧緻性が低下した高齢者には困難な留め具であると言える。(c)は上半身が前明きで明き止まりのあるデザインである。スカート部分は開かないことから着脱の際に被るか跨ぐ動作が必要となることと，(b)よりは数少ないもののボタンの掛けはずしが必要である。

### 3-7 明るい色柄の提案

Fig. 2 (a)は，Fig. 1 (a)と同じデザインのワンピースを明るい花柄の布地で製作したものである。「3-4 日本人の国民性」で，欧米に比べて日本の高齢女性は地味な服が多い実態を確認したが，日本中の皆が考え方を換え，高齢者と若者の「らしさ」の壁を取り払い，どのような色柄の服を誰が着ても違和感なく受け入れられる意識が根付けば，高齢者も明るい雰囲気のある衣服でもっと気分も上がると考えられる。新規の既製服を購入しても良いし，若い頃からお気に入りの衣服を継続して着てもよい。まだ着用できるのに，高齢者向きの色柄でないからという理由で廃棄される衣服を減らすことにも一役買う。

### 3-8 留め具の問題点を解決したリフォーム服

Fig. 2 (b)は種々の留め具の困難を解決したリフォーム服である。Fig. 1の基本型(a)の後ろファスナーおよび基本形(c)の明き止まりをなくし，前立て部分を全開にした。外見上は基本形(b)と同様であるが，ボタンの代わりに面ファスナーで開閉するようにした。基本形(b)のデザインを維持するために，飾りボタンを付けた。このデザインは後ろファスナー，ボタンの開閉，着脱時の被るまたは跨ぐ動作をすべてなくした問題解決ワンピースとなっている。前面上部の面ファスナーを開けた拡大写真も示している。

基本型(a)からこのデザインにリフォームする場合は，前立て部分に見返し分の別布が必要になるが，裏になる部分なので問題ないと考えられる。基本形

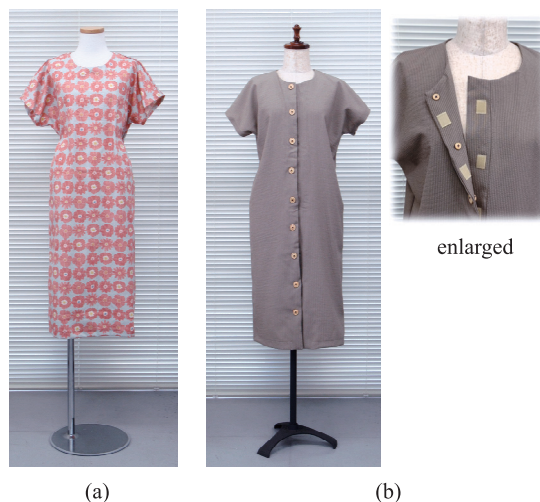


Fig. 2 Proposal of two types of dresses. (a) bright color and pattern, (b) front opening with Velcro tapes and ornamental buttons.

(b) からのリフォームではボタンを左見頃から右見頃に付け替えることと、面ファスナーの添付で可能になる。基本形 (c) からのリフォームは、明き止まりから下を切り開き、基本形 (a) からのリフォームと同様の見返しの縫い付けと、追加のボタン、面ファスナーの取り付けで可能になる。

### 3-9 被るタイプの市販服からのリフォーム

Fig. 3 (a) は市販のワンピースで、着脱のためのファスナー・ボタン等の留め具や明きはなく、被って着脱するデザインである。この衣服の着脱を楽にするために、前明きによりフォームしたものが (b) である。前中心を切り開き、切り開いた両側に幅広テープを縫い付けた。適当な位置にワンタッチスナップを取り付け、これで開け閉めできるようにした。手指の巧緻性

が低下し、スナップの留めはずしが困難な場合は、幅広テープに面ファスナーを取り付ければ、デザインを変えずに開閉が楽なワンピースになる。

### 3-10 ミシン縫いを用いないリフォーム

Fig. 4 (a) も Fig. 3 と同様に、被って着脱するデザインの市販のルームウェアである。ファスナー等の留め具や明きは無い。これを前明きによりフォームするにあたり、Fig. 3 と同様に幅広テープを用いたが、洋裁が不得意な人向けに、幅広テープの取り付けにワンタッチスナップを用い、ミシンを用いる工程を一切経ずにリフォームできる方法を3つ挙げる。

Fig. 4 (b) - (c) は前中心を切り開き、切り開いた両側に幅広テープを付ける際に、縫わずにワンタッチスナップで取り付けた。(b) は幅広テープの色を布



Fig. 3 Commercial dresses before (a) and after (b) reform. (a) neither fastener nor buttons, (b) front opening with Velcro tapes and one-touch snaps.



Fig. 4 Commercial dresses before (a) and after (b-d) reform. (a) neither fastener nor buttons, (b)-(d) front opening with one-touch snaps. (b) Velcro tapes, (c) large buttons, (d) hooks and eyes.

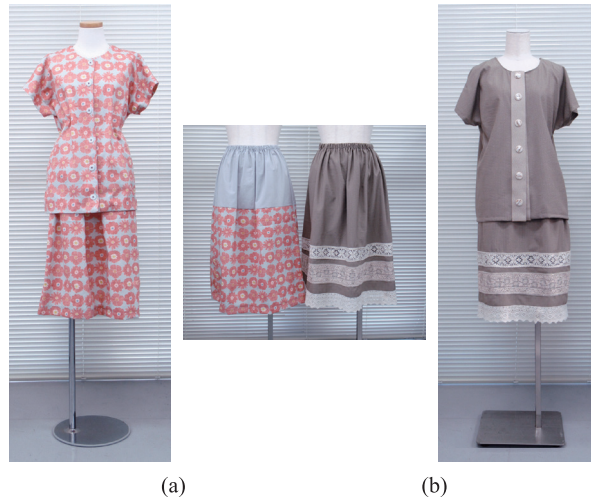


Fig. 5 Two types of reformed two pieces. (a) another cloth was added, (b) three types of ribbons were used.

地と同系色で目立たなくし、ワンタッチスナップの色を目立たせた例である。面ファスナーで開閉する。

(c) はボタンの留めはずしが可能な身体機能が残っている場合に、ボタンで開け閉めするようになっており、ボタンはできるだけ留めはずしがしやすい大きな平ボタンにした。(d) は、横に拡大写真を示しているように、幅広テープにかぎホックを付けている。ボタンやスナップは困難でも、かぎホックの開け閉めができる着用者用にした。(c) および (d) は幅広テープの色を布地と変えて、縦のラインを強調して、体型をスリムにスタイル良く見せるデザインである。

### 3-11 ワンピースからツーピースへのリフォーム

Fig. 5 は若い頃や健康な頃に着用していたワンピースをツーピースにリフォームする例を2種類示している。ツーピースは「3-2 高齢者に求められる衣服の特徴 ①- 1 着脱が楽な形」で述べた、体型変化のカバーおよび裾線の調整に加えて、トップス、スカート別々に他の衣服と組み合わせられる点や、気候に合わせて中着を加えられる点がワンピースよりも自由度が高いと言えよう。また、着脱の際に全身運動ではなく、上半身、下半身別々に着替えられる点も高齢者には利点と考えられる。

ワンピースをツーピースにリフォームする場合、スカート丈が同程度ならば、重複する腰の部分の布地が足らなくなる。そこで、上衣に必要な分はワンピースからそのまま利用し、スカートの足りない分を補う方法を2つ考案した。(a) は別布をつけ足す方法である。ツーピースにした場合に上衣に隠れる部分、すな

わちスカートの上部に別布を用いた。別布がわかりやすいように、本報では Fig. 2 (a) の花柄をワンピースを基本形とした。無地の場合はよく似た色の布を購入することが比較的容易であるかもしれないが、柄物の場合は困難であろう。そこで、別布は花柄の背景になっているグレー系の無地の布とした。

Fig. 5 (b) は Fig. 1 (a) を基本形にしたリフォームである。元のワンピースのうち、上衣を作製して残った布を横方向に3段に裁断し、購入した3種類のレースを各々の間に挟み込んだ。別布を用いることなくスカート丈を元のワンピースと同程度にした例である。上衣なしのスカート単独でもリフォーム感なく着用でき、リボンの多用で華やかさや豪華さを出せると言えよう。Fig. 5 の (a), (b) とともに、スカートのウエスト部分は着脱もリフォームも簡単で、金具を用いないゴムスカートとした。

上衣については、Fig. 2 (b) のリフォームと同様に、前中心を切り開いて前明きとしている。Fig. 5 (a) は見返しを付け、(b) は幅広テープを用いている。

## 4. 結論

- (1) 高齢者の身体的変化、着やすい服の特徴および高齢者向けの既制服の実状を調べた。
- (2) ファッションに対する高齢者の意識および日本人の国民性を調べた。
- (3) ユニバーサルデザインの衣服の実情ならびにリフォーム事業の実情を調べた。

- (4) 高齢者用としてよく売られている基本形3種類のワンピースを製作した。
- (5) 裁縫が得意な人向けのリフォーム方法を5種類考案した。
- (6) 裁縫が苦手な人向けにさらに、簡単なリフォーム方法を3種類考案した。

本研究が、身体機能が低下した高齢者をはじめ、既製服に不満を持つ人々が、自身の都合や好みに合わせた服のリフォームを簡単にできるようになることの一助になればと考える。

#### 参考文献

- 1) 一番ヶ瀬康子監修, 渡辺聰子著, 高齢者・障害者の被服, 一橋出版, 2000, p.7-23
- 2) クライ・ムキ, クライ・ムキのパターンブック ワンピース, 日本ヴォーグ社, 2008, p.6-7
- 3) 福祉士養成講座編集委員会, 新版介護福祉士養成講座 8 第3版 家政学概論, 中央法規, 2005, p.282-291
- 4) 中川英子, 介護福祉のための家政学, 建帛社, 2004, p. viii -113
- 5) 福祉士養成講座編集委員会, 新・介護福祉士養成講座 6 生活支援技術 I, 中央法規, 2009, p.184-185
- 6) 小澤洋子, こんなおしゃれがしたかった 高齢者・障害者のよそおい, 一橋出版, 2001, p.26-37
- 7) 前掲書1), p.75-84
- 8) 松山容子, 衣服製作の科学, 建帛社, 2016, p.10-11
- 9) 澤野文香, 山田民子, 高齢者衣服の研究と提案, 東京家政大学博物館紀要, 20, 75-86, 2015
- 10) 日本工業規格, JIS S 0023-2:2007 高齢者配慮設計指針—衣料品—ボタンの形状及び使用法, <https://kikakurui.com/s/S0023-2-2007-01.html> (2023/7/4閲覧)
- 11) 堀場洋輔, 町屋まゆの, 乾滋, ボタンの留め・外し動作におけるボタンホール方向の影響: 繊維製品消費科学, 61 (11), 786-796, 2020
- 12) Chiaretta: 高齢者の着やすい・脱ぎやすい服, <http://www.chiaretta-fashion.com/catalog/> (2023/7/4閲覧)
- 13) クラレファスニング (株): 製品情報, 製品一覧, マジックテープ, <https://www.magic-tape.com/products/> (2023/7/4閲覧)
- 14) 七福サトー, <https://www.sichifukusato.co.jp> (2023/7/4閲覧)
- 15) 北海道介護実習・普及センター, 福祉用具, 情報誌「介護実習普及センターインフォメーション」No. 8, 福祉用具と選定のポイント「衣類と介護/コミュニケーションの工夫」, [http://www.dosyakyo.or.jp/kaigo\\_center/jigyoku02-08.html](http://www.dosyakyo.or.jp/kaigo_center/jigyoku02-08.html) (2023/7/4 閲覧)
- 16) 伊地知美和子, 小林茂雄, 日本と日系アメリカの高齢女性の着想意識と実態の比較, 日本家政学会誌, 54 (5), 377-385, 2003
- 17) (株) ゆこゆこ: シニアのおしゃれ意識に関する調査, [https://www.atpress.ne.jp/releases/61204/att\\_61204\\_2.pdf](https://www.atpress.ne.jp/releases/61204/att_61204_2.pdf) (2023/7/4 閲覧)
- 18) 瀬戸房子, 大平さやか, 高齢女性の衣服と衣生活に関する意識調査, 鹿児島大学教育学部研究紀要 人文・社会科学編, 64, 79-94, 2012
- 19) 西之園君子, 長友由紀子, 高齢者の快適な衣服の研究—身体に障害のある高齢者の機能的な衣服(2)—, 鹿児島純心女子短期大学研究紀要, 39, 151-160, 2009
- 20) 酒井豊子, 最新介護福祉全書10 家政学概論, メヂカルフレンド社, 2004, p.100-101
- 21) 富田玲子, 高齢者の着想願望に基づく高齢者ファッションの制作と発表, 浅井学園大学短期大学部研究紀要, 45, 1-13, 2007
- 22) 横川由理, フランス人の「服装」が, 日本とこんなに違うワケ, <https://gendai.media/articles/-/59352> (2023/7/4 閲覧)
- 23) 齋藤祥子, 高齢者の装いに関する被服行動: カナダ・ハリファックス市における女性の場合を参考に, 北海道生涯学習研究, 北海道教育大学生涯学習教育センター紀要, 3, 19-26, 2010
- 24) kimini ブログ, 学ぶ楽しみ, 身に着く英会話: 海外と日本のファッションの違いとは? 海外で流行のファッションをチェックする方法や英語表現を紹介!, <https://kimini.online/blog/archives/11495> (2023/7/4 閲覧)
- 25) JAICO, 働く人の心ラボ, 日本人は地味色が好き? 「粋」の流行が生み出した独特の文化, [https://blog.counselor.or.jp/work\\_technique/f039](https://blog.counselor.or.jp/work_technique/f039) (2023/7/4 閲覧)
- 26) 北村トモエ, 中村玲子, 高齢婦人の衣生活, 服装色嗜好 (第2報), 家政学雑誌, 37 (2), 113-119, 1986
- 27) マジックマシン, 洋服のお直し バッグ修理, <https://www.magicmachine-rs.com/service/repair.html> (2023/7/4 閲覧)
- 28) キヤスク, お直しメニュー, <https://kiyasuku.com/> (2023/7/4 閲覧)
- 29) ヨシダファッションギャラリー, お直し部について, <http://www.yoshida-fg.com/?pid=130570707> (2023/7/4 閲覧)

(2023. 8.31 受理)